

ellipse

[エリプス]

TOPICS

徽音堂の施設整備にご協力を

楕円 (ellipse) には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心 (焦点) となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を [エリプス] と名づけました。



ワ・タシ

深津知寿 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上で「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

人とお酒のイイ関係 in 徽音堂
学びのポイントラリー
科学史散歩2 ～荻野吟子～

INFORMATION

お茶の水女子大学 イベント情報
各地に講師をご紹介しています
事務局よりお知らせ



レーズン
好評発売中



Switch!

電気と、ちょっといい毎日。

オール電化にしませんか。

tepc-switch.com

お問い合わせ先 0120-432-910

耳までソフトで、ほんのり甘い。超芳醇

STO 斉藤翻訳事務所

SAITO TRANSLATION OFFICE

代表: 斉藤 潤

技術翻訳全般承ります!

コンピュータソフト、コンピュータハード、電気、電子、機械などの技術翻訳(英日、日英)は、実績のあるSTO斉藤翻訳事務所におまかせ下さい。

- コンピュータソフト
- コンピュータハード
- 機械
- 電気
- 電子
- 半導体
- 自動車
- プラント

〒244-0801横浜市戸塚区品濃町514-1南の街7-701号
TEL&FAX 045-822-0585 E-Mail: jun-saito@mve.biglobe.ne.jp
◆業務実績など詳細はホームページをご覧ください。http://y7.net/sto

翻訳者募集

業務内容の拡大にともない、優秀な翻訳者または下訳者を募集しています。TRADOS経験者も募集中です。履歴書をE-Mailにて上記アドレスへお送り下さい。

編集後記

昨年は、新潟県中越地震やスマトラ島沖地震と大きな災害が続きました。皆様いろいろ形で支援に携わっておられることと思います。どのような支援ができるか、もしものときの「危機管理」を考える今日この頃です。被災された方が明るい気持ちで春を迎えられるよう祈っております。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は5月発行です。約5,000部発行、広告料金は20,000円/回、会員の皆様をはじめ全国の公共機関などに送付します。その他、ブックレットの広告も募集しておりますので、詳しくは事務局へお問合せください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org
http://www.npo-ochanomizu.org

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



光写真印刷株式会社
東京都大田区蒲田本町2-1-18
TEL 03-3732-0161



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関
地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分
地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分
都バス
大塚2丁目バス停すぐ

きいんどう
徽音堂の施設整備にご協力を



創立130周年を記念して「徽音堂施設整備に関する募金」活動をスタートします！

ご存知ですか？ 徽音堂の名の由来。

昭和7年8月31日竣工、鉄筋コンクリート造2階建、延460.22坪(1,518.726m²)、1494席。「徽音」という語は、「詩経」大雅の思齊篇のなかの句に見られ、(1)美しく優れたことば (2) 優れた評判・名誉 (3) 美しい音楽 の意味をもちます。竣工の年、吉岡郷甫校長が細田剣堂教授に命名を依頼し、東伏見宮妃の筆による「徽音堂」の額が掲げられました。



▲落成式

お茶大のシンボルとして…

入学式・卒業式など、学生生活は徽音堂にはじまり、徽音堂に終わります。東京女子高等師範学校、お茶の水女子大学のシンボルとして、あの穏やかで薫り高い雰囲気の後世に伝え、歴史を共有してまいります。



卒業生の思い出が 昔も今もいつばいの 徽音堂！

(昭和7年卒業生) 徽音堂へは最敬礼で入った。皇后、天皇の絵がかかっていたので、へこおびではだめ。あらたまった服をきて入った。

(昭和14年卒業生) 昭和12年4月26日に、ヘレン・ケラーの講演を聴いた。とても感動した。

(昭和57年卒業生) 徽音堂で法学の井上茂先生の講義や試験を受けたことが心に残っている。

(昭和9年卒業生) 卒業式は、小学校、女学校、本校(大学)と一緒にいった。厳かな式だった。

昭和21年徽音祭で、学生による「アルルの家」「シラノ・ド・ベルジュラック」「人形の家」の劇を観た。とても上手だった。

(昭和26年卒業生) そのころは、椅子が固定されておらず、椅子を端っこに寄せてダンスパーティーをした。

(平成3年卒業生) 社会が凄いスピードで変わっていく中で、古きよき時代を感じることができる徽音堂は大好きな場所でした。

諏訪根自子さんのバイオリンを聞いた。

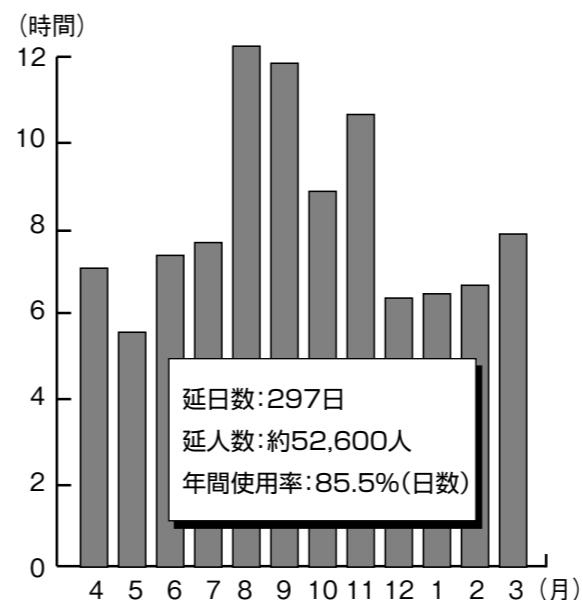
寄附金控除の内容

個人の方が寄附された場合、その寄附金は国立大学法人に対する特定寄附金となり、確定申告の際、年間の所得額の25%を限度として所得控除の措置を受けることができます。その年の寄附金の合計額から1万円を差引いた金額が所得額から控除できます。詳しくは、お問い合わせください。

施設設備について

式典はもとより附属学校園の諸活動、学会、大学のサークル活動等、徽音堂は年間日数の85.5%も使用されています。しかし、暖房設備も不十分な上、冷房がありません。今回の募金では、主に冷暖房設備を整備し、一年中快適な環境を整えます。伝統的意匠を守りつつも高い機能性を備えた新しいホールとして、徽音堂が生まれ変わります。

徽音堂の年間使用状況



同じ頃に建てられた建物は？

国会議事堂、大隈講堂（早稲田大学）、兼松講堂（一橋）、安田講堂（東大）などは、徽音堂と同時代の建築物です。安田講堂は大規模改修済み、大隈講堂は2007年の125周年へ向けて改修費用の募金活動中、兼松講堂は改修中で音響効果に優れたホールに再生します。各大学ともシンボリック建築物の保存と再生に意欲的に取り組んでいます。



昭和24年の写真アルバム



▲昭和24年 お茶の水女子大学開学式



▲附属女学校



▲附属小学校



▲附属幼稚園

お問合せ

お茶の水女子大学創立130周年記念
 徽音堂施設整備に関する募金事務室

TEL 03-5978-5106

(お茶の水女子大学 総務課)

みんなで考える「人とお酒のイイ関係」in 徽音祭

2004年11月14日13時～14時、徽音祭（お茶の水女子大学大学祭）野外特設ステージにて、アサヒビール株式会社、NPO法人環境ネットワーク・文京、お茶の水女子大学、お茶の水学術事業会の共催による「人とお酒のイイ関係」第2弾を開催しました。

肌寒い曇天の下、200名を越す人々が興味を持って参加していただきました。参加者には、鮮やかな模様の色とりどりの三角帽をかぶっていただき(写真1)、まずパッチテストから始まりました。このパッチテストは、アルコールに「強い・弱い」を判定するもので、アルコールに弱い人は、皮膚が赤く反応します。これは、体内にアルコール分解酵素が欠けているか、または、働きが弱いため、このような人は多量にアルコールを摂取すると体内で分解しきれないので注意が必要です。因みに日本人は欧米人に比較し、アルコール分解酵素の欠けているか、または、働きが弱い人の割合が多いそうです。自分の体質を知る良い機会になったという感想が多く寄せられました。中には、赤く反応したけれど、お酒に弱いとの自覚がないと質問に来られる方もいました。

次は、ウルトラ横断型〇×クイズ形式による、アルコールに対する常識度チェックです。アルコールに「強い人」「弱い人」でアルコールの常識度に対する有意差を調べるため、パッチテストの結果によりアルコールに強い人、弱い人それぞれに三角帽の上にさらに色分けされた帽子をかぶっていただき、クイズに臨みました。



▲写真1 色とりどりの三角帽でパッチテストとクイズに挑戦



▲写真3 参加者へのごほうび



写真2 パッチテストを受ける来場者

- (Q1) 水は沢山飲めないのに、ビールだと沢山飲めるのはビールは蒸発するからである。
- (Q2) ノンアルコールビールは全くアルコールを含んでいない。
- (Q3) 妊婦がお酒を飲むと、おなかの中の胎児の血中濃度は、母親と同じになる。
- (Q4) お見合いのとき、相手が全くお酒がだめと分かったらこのお見合いを断るか？

《皆さんもクイズにチャレンジしてみてください。答と解説が下にあります。》

クイズ終了後も、ステージ脇のテントでパッチテストを16時まで行いました(写真2)。小さなお子さんから学生、ご年配の方まで多くの方々がパッチテストを受け、大反響でした。パッチテストの判定結果に照らして、日頃の飲酒時の自分の状態について真剣にスタッフに説明を求める姿も見られました。スタッフは対応に任せてご舞いで、用意されたお土産（アサヒフードアンドヘルスケア株式会社提供、写真3）もあっという間に無くなってしまいました。

このイベントは、2004年7月にお茶の水女子大学大学公開日に公開講座として開催したものを、徽音祭においてより多くの方を対象に内容を充実させて開催しました。大学・企業・NPOが「協働」し、よりよい社会環境作りのためのこのような場をこれからもお茶の水事業会は提供していく予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

クイズの答と解説

(Q1) ×
 解説：水は胃ではほとんど吸収されないで、飲むとすぐに胃がいっぱいになり、ある一定の量以上受け付けられなくなってしまいます。ビールの場合、飲むとビールの中のアルコール分は、胃から吸収され、水もアルコールと一緒に吸収されます。また、アルコールは抗利尿ホルモンの働きを抑えるので、ビールを飲むとトイレが近くなります。尿を出すことで体が脱水状態にならないようにと水分を欲するので、ますます飲めることとなります。

(Q2) ×
 解説：ノンアルコールとはいえ、アルコールが全く含まれていないわけではなく、表示上アルコール分1%未満のものは「ノンアルコールビール」と言えることになっています。よって、「ノンアルコール」といっても、アルコール分を含んでいますので、何本も飲めば血中アルコール濃度も上がり、酔っ払います。ということで、車の運転やお子様の飲用がないようご注意ください。

(Q3) ○
 解説：妊娠した女性がお酒を飲むと、胎盤を通して直接胎児にも運ばれ、短時間で胎児の血中アルコール濃度は、母親の血中と同じ濃度となります。そうすると、アルコールが胎盤を通じて体内の赤ちゃんに作用し、さまざまな障害がおきたり、早産や流産、分娩異常の原因になる可能性もあります。妊娠した女性の飲酒が胎児に悪影響を及ぼすと、胎児性アルコール症候群(FAS:Fetal Alcohol Syndrome)という病気になります。胎児の出生前、出生後の低体重、中枢神経系の障害(発達遅滞、知能障害)、頭部、顔面奇形などの先天性の奇形や障害が現れる病気です。妊娠中の女性同様、授乳中の女性の飲酒も、母乳を通じてアルコールが赤ちゃんに入ることになるので、飲酒は控えるべきです。

(Q4)
 数名を除いてほとんどの人が×(断らない)でした。

「学びのポイントラリー」のご紹介 ～地域の学び推進機構より

「学びのポイントラリー」とは、子どもたちの地域での学びを活性化するために生まれた「授業外学習ポイント制度」です。自治体、市民団体、NPO、民間企業、大学などが実施する教育プログラムを登録し、参加者は「スタンプラリー」のようにポイントを取得します。このポイントが活動実績・学習履歴として、進学先や就職先への自己アピールとなることで制度のねらいです。プログラム内容としては、「教科学習の補充・発展」「文化・スポーツに関するもの」「市民生活・社会参加に関するもの」「職業理解・職業選択に関するもの」などがあります。

2004年5月に、市民団体「地域の学び推進機構(www.chiiki-manabi.org)」が発足し、文京区をはじめ、杉並区、江東区で、教育委員会や地域の団体と連絡を取りあいながら、試験的な実施を始めました。お茶の水女子大学も趣旨に賛同し、高校生・



▲エントリープログラム「21世紀を拓くOchanomists」会場の様子

学びのポイントラリー受付にて「地域の学び推進機構」のスタッフ

中学生向けのプログラムとして、徽音祭で行われた下表のプログラムを登録しました。これらのプログラムで「学びのポイントラリー」に参加登録した高校生・中学生は総数48名。ポイントカードをもって、次々と積極的にプログラムに参加する姿が見受けられ、関心の高さがうかがえました。

学校が週5日制になり、休日や長期休暇に有効な学習の場が提供され、子どもたちが社会人や大学生とともに学ぶ場が求められています。これまでに「学びのポイントラリー」にプログラムを提供した団体は、文京区では他に中央大学、東京大学、NPO法人「環境ネットワーク・文京(ENB)」、NPO法人「教育トラスト」があります。ENBとの連携においては、お茶の水女子大学の研究室も会場や講師を提供しており、NPOインターンシップ★の学生もスタッフとして活躍しています。

みんなで考える「人とお酒のイイ関係」

2004年7月19日、11月14日／お茶の水女子大学、アサヒビール(株)、NPO法人環境ネットワーク・文京、お茶の水学術事業会 共催

21世紀を拓くOchanomists ～恋愛・キャリア・国際貢献～

2004年11月13日／お茶の水女子大学徽音祭実行委員会、お茶の水女子大学女性支援室、女性と未来の仕事館 共催

土屋賢二教授 模擬授業

2004年11月14日／お茶の水女子大学 徽音祭実行委員会 主催

生命科学フォーラム

2004年11月14日／生命科学フォーラム実行委員会 主催

★「全学共通科目コミュニティボランティアコース」は、1年生から4年生までの誰でも履修できる選択科目群で、NPOインターンシップをすることが必須です。大学・地域・企業とのコラボレーションのあり方について実践的に学んでいます。

cha cha cha 茶・茶・茶 お茶大再発見!

科学史散歩2 ～日本初の女医 荻野吟子～

お茶の水女子大学とその周辺にまつわるエピソードや歴史に埋もれたスポットをめぐる散歩をお楽しみください。



▲荻野吟子のお墓の前

「荻野吟子」をご存知ですか？日本で初めて女性医師になった人です。彼女は、医学を学ぶ前までは、東京女子師範学校(お茶大の前身)に通っていました。明治8年に女性教師を養成するために官立の東京女子師範学校が開校され、その一期生だったのです。

その当時は、現在の東京医科歯科大学のあるお茶の水に校舎がありました。隣には東京師範学校(筑波大の前身)と文部省があり、日本の近代教育の基礎を作り上げていく重要な場所でした。新しい時代を切り拓いていきたいと気概にあふれる女性が集まった東京女子師範学校で、吟子は5年間学び、首席で卒業します。卒業式の日、監事・永井久一郎(永井荷風の父)に卒業後の希望を尋ね

られて、「女医師になりたいのです。」と吟子ははっきり答えます。彼女の意思を尊重した永井は、陸軍軍医を紹介することで医学校に通えるように取り計らいます。医学校卒業後も、「女性の先例がない」という理由で、医師開業試験の受験すらできないなど苦労がありましたが、明治18年、試験に合格して、吟子は日本で初めての女性医師になりました。その後は、湯島で開業しながら女性の地位向上を目指して社会運動にも関わりました。

常に明治の時代の先端を駆け抜けていった荻野吟子は、現在、雑司ヶ谷霊園で静かに眠っています。彼女が生きた時代に思いを馳せて、お墓までお散歩をしてみたいか？雑司ヶ谷霊園は、お茶大からすぐ近くですよ！

お茶の水女子大学 イベント情報

2005年2月以降にお茶の水女子大学で開催される各種イベントのお知らせです。詳細は各主催者にお問合せください。

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2005年4月～8月 平日 18:30～20:00 もしくは 土曜 午前・午後	2005年度前期 公開講座 化学・生物総合管理の再教育講座 現代社会をよりよく理解するための教養を涵養することを目指した、化学物質や生物によるリスクの評価・管理、そして技術革新及びその社会・生活とのかかわりなどに関する28科目の大規模な公開講座。1科目は90分授業15回から構成、科目選択自由、1科目から受講可能。	無料	【場所】お茶の水女子大学 【お問合せ・お申込み】 お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター 化学・生物総合管理の再教育講座事務局 E-mail: koukai-q@cc.ocha.ac.jp TEL 03-5978-5018 FAX 03-5978-5019 (Web申込み) http://www.ocha.ac.jp/koukai/
2005年5月8日(日) 10:20～12:00	リズムの不思議 ～リズムとコミュニケーション～ 講師：お茶の水女子大学理学部助教授 森義仁 ものごとにはリズムがつきものです。演奏会などが終了したときに拍手がおきますが、最初はばらばらだった拍手が、そのうちリズムがあっけてきます。これは、理系的に考えると振動の引き寄せが起こるそうです。理系の難しい話ではなく、身近な話題を「リズム」というテーマでお話しします。	200円	【共催】桜蔭会兵庫支部 お茶の水学術事業会 【場所】芦屋ラポルテホール (JR芦屋駅北側のラポルテ本館3階) 【お問合せ・お申込み】 森嶋郁子 TEL&FAX 078-781-0846
2005年2月26日(土) 14:00～17:00	「子どもが生きる学校作り ～学校組織マネージメントを見直す～」 講師：木岡一明(国立教育政策研究所高等教育研究部) 明日の学校を作るのは、私たち教師自身です。日頃の自分たちの学校教育を適切に振り返るにはどんな視点で見ていったらよいでしょうか。またそれをどう活かしていけば、子どもたちが真に生きる力を身につける学校を作っていくのでしょうか。2月のワークショップでは、『月刊教職研修』などでもおなじみの木岡一明先生をお招きして、学校組織マネージメントのあり方について学び、話し合います。一般の先生方はもちろん、管理職の先生や教務の先生など、多くの先生方のご参加をお待ちしています。	資料代等 500円	【主催】 お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター 【場所】 北区教育センター(旧・神谷第2小学校) 【お問合せ・お申込み】 お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター E-mail: info@kodomo.ocha.ac.jp TEL 03-5978-5539 http://www.kodomo.ocha.ac.jp/WorkShop/H16/kaijou.htm

お茶の水学術事業会が各地に講師をご紹介します

お茶の水学術事業会では自治体主催の市民講座や講演会などに講師をご紹介します。昨秋は以下の講座が催され好評でした。

「箕面の民話をもとに和楽器で遊ぼう」

文化庁委嘱による(財)伝統文化活性化国民協会補助事業「楽器制作と伝統文化 笛の演奏教室」のオープン講座

日時：2004年9月19日(日)13:00～15:00
会場：大阪府箕面市豊川南小学校 音楽室
講師：お茶の水女子大学附属小学校教諭・お茶の水女子大学講師
猶原 和子(なおはら かずこ)氏
主催：ラカルト 共催：箕面市音楽協会
後援：箕面市教育委員会 (財)箕面市文化振興事業団

公募で集まった大人から子どもまで50人の参加者は、笛の音だしや唱歌奏法を習い、江戸囃子を和太鼓と一緒に合奏しました。お茶の水女子大学附属小学校の同年代の仲間達の演奏や世界の珍しい竹の楽器をビデオで見た後、地元箕面の民話を思い思いの楽器を鳴らして読み合わせ、パフォーマンスに仕上げました。



▲民話と和楽器のパフォーマンスを演じる講師の猶原和子氏と子どもたち

「女性作家・樋口一葉の生 - 恋、生活、名作の周辺」

日時：2004年10月23日(土)14:00～16:00
会場：いたま市産業文化センター
講師：お茶の水女子大学文教育学部助教授 菅 聡子(かん さとこ)氏
主催：いたま市男女共同参画推進センター
(愛称 パートナシップさいたま)

新五千円札の顔となり再び脚光が集まっている明治時代の女性作家・樋口一葉について、わかりやすい語り口で定評のある菅先生が講演を行いました。200名を超える参加者で大盛況、アンケートにも「大変面白かった」という意見が多数寄せられました。



▲講師の菅聡子氏

▲さいたま市産業文化センターのホールを埋める聴衆

「お茶大ゴフル」好評発売中

「お茶大ゴフル」はご賞味いただけましたでしょうか？お土産に、記念に、会合にぜひお買い求め下さい。お茶の水女子大学生協で店頭販売しています。発送も承りますので、お茶の水学術事業会事務局までお申込みください。



ばにら・ちよこ・いちご
各4枚入
600円(税込)

通信販売いたします ※送料はお客様負担となります。

ご注文はメール・電話・FAXでどうぞ！
E-mail: info@npo-ochanomizu.org TEL&FAX: 03-5976-1478

講師斡旋について

講演会やセミナーの講師の斡旋をしております。ご要望に合わせて最適な講師をご推薦します。自治体主催の市民講座や講演会など、講師のご要望がありましたら、お気軽にお問合せください。



◆地方講演会共催のパートナーを募集しています◆

東京都以外の地域においても講演会を開催していきたいと考えております。共催していただける団体等がございましたら、事業会までご連絡くださるようお願いいたします。

助成事業について

社会教育の推進、男女共同参画社会の形成、子どもの健全育成を推進することを目的とした助成事業を行っています。助成を受けたい方は、受付期間(次回は平成17年3月31日締切り)に申請してください。募集要項は事務局にご請求ください。

お茶の水学術事業会 入会要項 あなたの社会貢献の第一歩としてぜひご入会ください！

■入会資格 趣旨にご賛同くださる方なら、どなたでも入会できます。
■入会方法 郵便局の払込取扱票にお名前・住所・電話番号、通信欄に必要事項(会員区分/生年月日/会費口数/メール/FAX)をご記入の上、今年度分の会費をお支払いください。入会受付後、1ヶ月以内に会報のお届けと会員番号のお知らせをいたします。

【郵便】00100-3-583029

特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会

※払込手数料は各自でご負担ください。
※ホームページからお申込みいただく場合は、払込取扱票の通信欄にはご記入なさらないでください。

■会員区分 □正会員 □個人賛助会員 □法人賛助会員

※正会員には議決権があり、毎年の総会にご出席いただけます。欠席の場合には、委任状を提出していただけます。個人賛助会員・法人賛助会員には、議決権がありません。

お茶の水ブックレット

お茶の水学術事業会では、お茶大の学内で催されるさまざまな講演やシンポジウムなどの内容を学外のみならずにお届けするために、お茶の水ブックレットを出版しています。大学が発信する新鮮で貴重な情報を、お仕事や日常にどうぞお役立てください。



第1号「教育と平和—アフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」
緒方貞子氏へのお茶の水女子大学名誉博士称号授与式での記念講演・五女子大学学長によるアフガニスタン女子教育支援パネルディスカッション。

第2号「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」
本田和子学長の講演(表題)・土屋賢二教授の講演「お茶の水女子大学はどんな人間を生み出してきたか…被害者の立場から」を収録。

第3号「ライフワールド・ウオッチセンター」(在庫なし)
センター設立記念シンポジウムでの記念講演を収録。名古屋大名誉教授伊東信行氏、文科省 井上正幸氏、日本学術会議会長 黒川清氏 他

第4号「生命科学フォーラム」
お茶大理学部研究者による生命科学最先端の講演集。「ストレス応答の生物学」「ゲノム解析—遺伝子診断と治療の扉」「糖鎖を操作して健康を守る」「インビボ核磁気共鳴…診断と治療への寄与」ほか

第5号「現代女性の恋愛・結婚・就労パズル」(近日刊行)
「読売」お茶大 女性アカデミア21での講演とシンポジウムを収録。心理学者で評論家の小倉千加子氏の講演(表題)とパネルディスカッション。

1冊500円(税込・送料別)でお求めいただけます。メール・電話・FAXでご注文ください。最新刊については随時ホームページでお知らせしております。

TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org/booklet/>